



2021年10月13日

各位

会社名 株式会社歌舞伎座
 代表者 代表取締役社長 安孫子 正
 (コード番号: 9661 東証第2部)
 問合せ先 経理部長 岡谷 直人
 (TEL. 03-3541-5572)

2022年2月期 第2四半期累計期間(連結・個別)の業績予想と実績との差異 及び通期(連結・個別)の業績予想の修正に関するお知らせ

2021年4月13日に公表しました2022年2月期第2四半期累計期間(連結・個別)の業績予想と本日公表の同実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、通期(連結・個別)の業績予想を修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績との差異

- ・2022年2月期第2四半期(累計)の連結業績予想と実績との差異(2021年3月1日~2021年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,341	△35	△33	△70	△5.78
実績値(B)	1,207	△53	△43	△89	△7.38
増減額(B-A)	△134	△18	△10	△19	
増減率(%)	△10.0	-	-	-	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年2月期第2四半期)	901	△279	△235	△208	△17.25

- ・2022年2月期第2四半期(累計)の個別業績予想と実績との差異(2021年3月1日~2021年8月31日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	961	111	70	5.76
実績値(B)	962	136	87	7.20
増減額(B-A)	1	25	17	
増減率(%)	0.1	22.5	24.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年2月期第2四半期)	822	△0	△21	△1.80

2. 差異が生じた理由

第2四半期累計期間につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大により緊急事態宣言の実施期間が想定以上に長引いたこと等から、連結子会社の運営する食堂・飲食事業及び売店事業における業績が当初予想を下回る結果となりました。

不動産賃貸事業を本業とする当社におきましては、一部の保全作業が下半期に先送りになったこと等から、経常利益及び四半期純利益において当初予想を上回る結果となりました。

3. 通期業績予想の修正

・2022年2月期通期の連結業績予想の修正（2021年3月1日～2022年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	2,856	△22	△18	△79	△6.50
今回修正予想（B）	2,472	△145	△135	△200	△16.50
増減額（B－A）	△384	△123	△117	△121	
増減率（％）	△13.4	－	－	－	
（ご参考）前期実績（2021年2月期）	2,106	△378	△322	△347	△28.71

・2022年2月期通期の個別業績予想の修正（2021年3月1日～2022年2月28日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	1,930	218	148	12.23
今回修正予想（B）	1,928	217	146	12.05
増減額（B－A）	△2	△1	△2	
増減率（％）	△0.1	△0.5	△1.4	
（ご参考）前期実績（2021年2月期）	1,794	124	54	4.52

4. 修正の理由

通期につきましては、当第2四半期累計期間の実績値を反映するとともに、下半期については感染拡大が一定程度抑えられると期待される一方で、消費の持ち直しの動きには足踏みがみられ、前回予想発表時よりも厳しい事業環境が続くものとして業績予想値を算出しております。

なお、期末の配当金につきましては、上記個別業績予想を踏まえ、2021年4月13日に公表しました1株につき5円から変更ありません。

本業績予想には、新型コロナウイルス感染症の将来の再拡大等による歌舞伎公演の中止や経済活動の停滞等については想定しておりません。今後の状況の変化等により開示すべき重要な事項が発生した場合は、速やかに業績への影響をお知らせいたします。

以 上